

<経営支援グループ>

- 中小企業の経営相談・経営診断
- 中小企業の総合支援
- 自動車関連産業の振興

《中小企業の診断①》

高度化事業に係る診断

住工混在の解消や街の活性化を目的とする中小企業等の集団化、集積整備などの実施にあたり、中小企業基盤整備機構と一体になって貸付及び運営に係る診断助言を行っています。

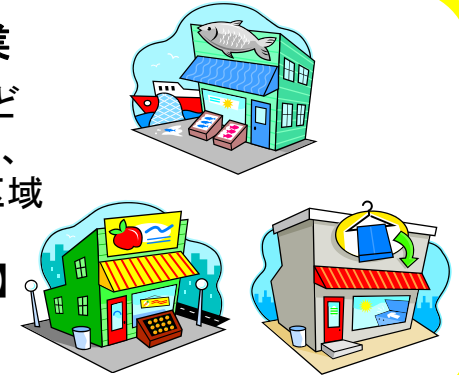
集団化事業

市街地などに散在する工場や店舗などを、生産性や効率性向上、異業種との連携などのため、一つの区域や建物にまとまって移転するもの
【28年度診断実績6件】



集積区域整備事業

商店街もしくは工場などが集積している区域で、建物の建て替えなど区域全体を整備するもの
【28年度診断実績4件】



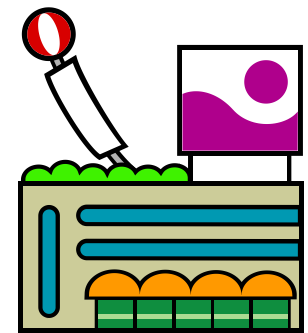
共同施設事業

共同で利用・経営する加工施設や研究開発施設、物流センター、商店街のアーケード・カラー舗装、駐車場などを整備するもの【28年度診断実績1件】



施設集約化事業

店舗が集まりショッピングセンターを、また工場を集約化して共同工場などを整備するもの。
【28年度診断実績3件】



《中小企業の診断②》

小規模企業者等設備導入資金の貸付診断と事後の助言

「小規模中小企業者等設備導入資金助成法」に基づく貸付を受けようとする中小企業者を対象にした診断や貸付を受けた中小企業者を対象とした事後の助言を行っています。

【平成28年度実績】 事後助言4件



戦略的経営展開マニュアルの作成・配布

企業が抱える様々な経営課題を解決し、新たな市場開拓等の戦略的な経営展開を図るための支援の一環として「戦略的経営展開マニュアル」を作成と県内中小企業者への配布を行っています。【平成28年度】 小規模事業者経営展開事例集

《中小企業の診断③》

生産性向上による労働力減少対策事業(食品工場診断)

原材料価格高騰により県内企業の収益性が悪化している中、特に、食料品製造業では価格(掛け率)がネックになり販路が限定されるなど生産性の改善が課題となっています。平成27年度末には絶好のビジネスチャンスである北海道新幹線開業を迎え、その効果を最大限享受するため、食品工場を対象とした工場診断を行い、県内食料品製造業の生産性向上による競争力の強化を集中的に支援します。

【現状と課題】

- 原材料価格の高騰による収益性の悪化
- 食料品製造業の製造品出荷額に対する付加価値額の割合は東北最下位(工業統計調査)
- 価格(掛け率)がネックになり販路が限定される例が多い
- H27年度末北海道新幹線開業は絶好のビジネスチャンス
- 県産品のブランド化や、商品開発、販路開拓等に加え、コストに着目した商品価値向上による競争力向上が必要

“生産性”に着目した食料品製造業の収益力向上が必要

【事業内容】

工場診断事業(⑳㉑)実施)

経営コンサルタントによる幅広い着眼点に立った工場の調査・分析を行い、改善提案を実施する。■診断企業数:⑳ 5社㉑ 3社㉒5社(予定)

＜診断の着眼点(例)＞

- 5S
整理・整頓・清掃・清潔・躰が徹底されているか
- ラインバランシング
生産の流れはスムーズか(各工程の所要時間の均衡)
- 工程分析
工場のレイアウトは効率的か(運搬経路の短縮等)
- 動作研究
効率的に作業が行われているか(作業のムダ取り)
- 品質管理
不良品を発生させている工程がないか(統計的手法の活用)

⇒各企業において改善に取り組み、改善効果の有無を実証する。

【事業効果】

県内食料品製造業全体の生産性向上に向けた取組の促進

競争力の向上
販路拡大

本県の強みである
「食」の一層の強化
・
地域経済の活性化

《中小企業の支援①》

経営革新計画の承認制度

中小企業新事業活動促進法に基づき、中小企業者が作成した経営革新計画の作成支援や計画に対する承認を行っています。【承認件数 平成27年度1件、平成28年度15件】

【平成27年度】

①株式会社ケアスマイル青森

【平成28年度】

①株式会社ひらの洋服店

②太洋舎商事株式会社

③北日本産業株式会社

④株式会社あおもりデンタルサポート

⑤有限会社秋田商店

⑥有限会社二階堂

⑦有限会社HIG

⑧弘前ガス株式会社

⑨株式会社スーパーストア

⑩ミリオン株式会社

⑪株式会社高昇興業

⑫有限会社カメラのみなみや

⑬やまはた整骨院 山端祐樹

⑭株式会社テクトリー

⑮株式会社三上材木店



- ・商工会、21財団、県等の経営革新計画の作成支援
- ・県の承認に基づく低利融資制度等の活用により中小企業の活性化と雇用の拡大を図る

《中小企業の支援②》

総額 約100億円の基金による支援

総額 約100億円の基金を活用し、青森県が有する地域資源や人財、ローカルテクノロジー等を活かして産業の振興と雇用の創出を図ります。



ブナコを活用したスピーカー

あおもり元気企業チャレンジ助成事業

- 創業・中小企業者等の経営革新等の新たな取組を支援します。
- H19～H28の実績(累計) 230件 約4.8億円

元気企業
チャレンジ
助成事業

(公財)21あおもり
産業総合支援センター



十和田おいらせ餃子

あおもり農商工連携助成事業

- 中小企業者等と農林漁業者が連携し、県産農林水産物等を活用した商品開発などの取組を支援します。
- H21～H28の実績(累計) 97件 約1.9億円

意欲ある創業者・
中小企業者
に対する助成・
投資・ハンズオン
による支援

あおもり
クリエイ
ティブ
ファンド

フューチャーベンチャー
キャピタル(株)

あおもり
農商工連携
助成事業

(地独)青森県
産業技術センター



あおもりクリエイティブファンド

- 株式上場を志向する成長企業等に対し、投資資金を提供するとともに、関係機関が一丸となったハンズオン支援を行います。
- H19～H28の実績(累計) 23件 約13億円

《中小企業の支援③》

ワンストップサービス

県では、公益財団21あおもり産業総合支援センターを通じて、創業、経営革新、取引推進及び小売商業支援など、中小企業に係る一貫した支援を総合的に行っています。

総合相談

中小企業の経営に関する総合相談窓口として、専門的知見等を有するコーディネーターが無料で相談に応じています。
【平成28年度実績】 相談件数 4,213件

専門家派遣

中小企業診断士、税理士、デザイナー、ITコーディネータなどの経験豊富な民間の専門家を、中小企業者等からの派遣要請を受けて現地に派遣し、必要なアドバイスを行います。
【平成28年度実績】 派遣企業数 11社(延べ45日)

取引あっせん

県内中小企業の取引を推進するため、あっせんや商談会を開催しています。
【平成28年度実績】 あっせん紹介件数 95件

《中小企業の支援④》

県では、ビジネスチャンスの獲得を契機とした本県中小企業の更なる成長を促進するため、21財団にビジネスサポートステーションを設置し、商いの出口である「売ること」に対する支援の充実・強化を図っています。

ビジネスサポートステーション

創業～新商品開発支援

県内企業の販路開拓、取引機会の拡大
～ “出口支援の強化”へ～

経営全般に関する支援

よろず支援拠点

コーディネーター・サブコーディネーター(8名)

県コーディネーター(6名)

創業に関する支援

インキュベーションマネージャー(3名)

〈個別プロジェクト支援〉

産学官のマッチング・連携等支援

オープンイノベーション推進コーディネーター(1名)

ものづくり企業の現場力強化支援

現場力強化アドバイザー(1名)

販路アドバイザー
(3名)

発注開拓推進員
(1名)
東京駐在

各種商談会の
開催、出展

大手企業への
売り込み

☆ ビジネスマッチング(外部委託)

- (対象者) 県内に本社又は事業所を有する中小企業者
- ①販路開拓に係る様々なネットワークを有する法人を通じた、首都圏企業等との個別ビジネスマッチングの機会を提供。
 - ②首都圏からバイヤーを招聘し個別商談会を実施。
(平成28年度の例)
 - ・(株)高島屋
 - ・旭食品(株)
 - ・(株)小田急百貨店
 - ・(株)星野リゾート(星野リゾート青森屋)

☆ 販路開拓、取引拡大に対する助成

〈助成額〉 上限500千円(補助率1/2)

〈対象経費〉 商談会出展経費(ブース料、商品等送料、交通費等)、販売を目的としたHP立上げ経費、首都圏等への新規営業拠点設置初期費用・賃料等

《自動車関連産業の振興》

県では、自動車関連産業集積に向けて、地場企業の支援と積極的な企業誘致に取り組むとともに、必要な人材の育成に取り組んでいくため、平成20年1月に「青森県自動車関連産業振興戦略」を策定しました。

1 地場企業の育成・強化

- (1) 支援体制の強化
- (2) 経営力の強化
- (3) 取引拡大
- (4) 技術力の強化

企業のスキルアップを支援する専門人材
 ・北東北3県アドバイザー
 ・青森県ものづくり産業振興アドバイザー

2 企業誘致活動の強化

- (1) 戦略的な企業誘致の推進
- (2) 新たな環境社会形成に対応した企業誘致

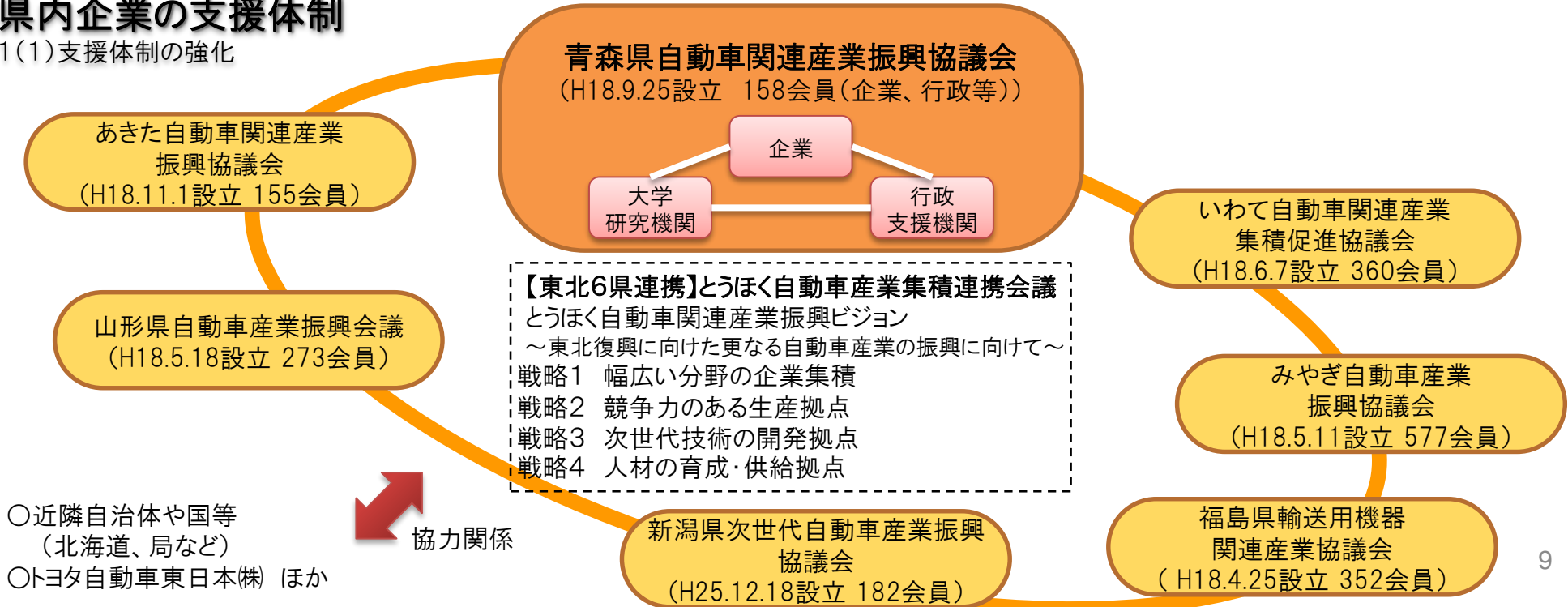
【ターゲット産業】 自動車、農工食品、情報通信、環境・エネルギー、医療・健康・福祉

3 人材の育成・強化

- (1) 基盤技術者の育成
- (2) 既存人材育成事業を更に自動車関連産業人材育成向けに活用・強化

県内企業の支援体制

1(1) 支援体制の強化



「機械構造研修 in 八戸」、「機械構造研修 in 弘前」の開催

自動車ものづくり関連産業への参入や自社技術を活かした製品開発を目指す県内企業を対象に、元トヨタ自動車(株)の開発担当者を講師として、燃料電池自動車の構造を中心とした講義、分解車両を使用した解説などを実施しました。

日時 <八戸会場>平成28年10月18日(火)、13:00~16:15

<弘前会場>平成28年10月20日(木)、13:00~16:15

会場 <八戸会場>八戸工業大学(27名参加)

<弘前会場>県立弘前高等技術専門校(67名参加)

講師 <2会場共通>宮城県産業技術総合センター 自動車産業振興コーディネーター 萱場 文彦 氏
(元トヨタ自動車(株)、エンジンの開発、設計、車両企画等を担当)

- 内容
- ・燃料電池自動車の構造等に係る講義
 - ・車両(燃料電池自動車)を見学しながらの解説
 - ・ハイブリッド車の機能部品等の解説
 - ・自由見学、質疑応答、個別アドバイスほか



とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会(とうほく自動車産業集積連携会議による連携事業)

○ とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会

東海地区の自動車関連メーカー等を対象に、取引促進や協力関係の構築を図るため、東北7県の各協議会により構成される「とうほく自動車産業集積連携会議」および北海道自動車産業集積促進協議会が主催し、企業の「新技術・新工法」等の提案・アピールを行う展示商談会を開催してきています。

- ・日時 平成29年2月2日(木)～3日(金)
- ・場所 刈谷市産業振興センター「あいおいホール」(愛知県刈谷市)
- ・内容 「樹脂成形」「鋳造・鍛造」「プレス」「表面処理」などの新技術・新工法の提案
- ・本県参加企業 6社(東北7県・北海道で82社)



【参考】とうほく7県および北海道 自動車関連技術展示商談会の本県企業出展状況

年度	開催年月日	開催名称	開催場所	県参加企業数(全体)	県参加企業名
19	平成19年9月3日～4日	とうほく自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	4(99)	高周波鋳造(株)、エプソンアトミックス(株)、(株)ワーロック、(株)青森テクニ
20	平成20年11月17日～18日	とうほく自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	7(89)	エプソンアトミックス(株)、(株)ワーロック、(株)青森テクニ、(株)青森フジクラ金矢、アンデス電気(株)、マルイ鍍金工業(株)東北工場
21	平成21年10月27日～28日	とうほく6県新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	3(38)	エプソンアトミックス(株)、(株)青森フジクラ金矢、(株)遠山工業黒石工場
22	平成22年10月27日～28日	とうほく6県自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	2(58)	(株)青森テクニ、(株)遠山工業黒石工場
23	平成24年1月19日～20日	とうほく6県新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	2(43)	エプソンアトミックス(株)、(株)遠山工業黒石工場
24	平成25年1月24日～25日	とうほく6県自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	3(70)	(株)遠山工業黒石工場、(株)コアライン、多摩川精機(株)八戸事業所
25	平成26年1月30日～31日	とうほく6県新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	5(40)	(株)アドバネクス弘前工場、(株)ソルテック、竜飛精工(有)、(株)テクニカル、(株)ブルーマウステクノロジー
26	平成27年2月5日～6日	とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	6(80)	(株)アドバネクス弘前工場、(有)外ウ電子、(株)遠山工業黒石工場、(株)エコム(株)、北日本鍍金(株)、(有)forte
27	平成28年2月4日～5日	とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	8(102)	(株)アドバネクス青森工場、(有)外ウ電子、(株)青森テクニ、(株)ソルテック、日本ハルスモーター(株)岩木工場、テストデータシステム(株)、(株)フォルテ、(株)抗菌研究所
28	平成29年2月2日～3日	とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	6(82)	(株)アドバネクス青森工場、(有)外ウ電子、(株)ソルテック、日本ハルスモーター(株)岩木工場、(株)フォルテ、アイカーボン(株)

